



「本物」の力のすばらしさから学びました

災害後の子どもたちの「心」の状態を心配しながら迎えた2学期でしたが、子どもたちは、多くの体験や学習で成長し、充実感や達成感と共に2学期の終わりを迎えようとしています。

「地域に開かれた教育課程」は、新しい学習指導要領の鍵となるキーワードです。海田小学校では、まず、子どもたちの学ぶ姿を地域や保護者の方に知っていただこうと思っています。様々な機会をとらえて、学校に来ていただき、学ぶ姿をリアルタイムで見えていただくことも「地域に開かれた教育課程」の一つのねらいです。2学期、多くの方のお話を聞いたり、学習に参加していただいたりする中で、子どもたちは、「本物」の力のすばらしさを感じる機会が多くありました。オリンピック関連では、陸上選手の「為末大」さんのお話を6年生が聞き、同じく陸上選手の「油谷繁」さん、「田中俊也」さん、「新井広憲」さんからは、4年生・5年生が、「走り方教室」で「本物」の力に触れさせてもらいました。

11月28日には、オリンピックに3度出場された女子バレーボール選手の「大林素子」さんが、講演をしてくださいました。これは、「広島県オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業」の一環で、本校が推進校にあたっていることで実現したことです。

大林素子さんからは、子どもの頃は、運動はあまり得意ではなく、中学校に入ってからバレーボールを始めたという意外なお話を聞きました。「夢は叶う。夢を叶えるためには、そのために努力すること、さぼってはいけない。」という大林さんのお話は、まさに「本物」でした。

目をキラキラさせながら、「本物」の方々のお話を聞いたり、質問したり、素直に人と関わることの喜びを感じている海田小学校の子どもたちのよさも同時に感じる事ができました。



為末 大さん



油谷 繁さん
新井 広憲さん



大林 素子さん
「自信は努力から」(児童へのメッセージ)

